

## 平成28年度 第1学年 前期授業アンケート 分析表

現代文	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。予習や復習など自主学習の方法を工夫する必要がある。お互いの意見を交換させることで相互の活発な知的活動を創り出し、作成した解答を評価し合うことで自己の語彙力や表現力をより高めることを志向させたい。
古典	多くの生徒が予習を行い、集中して授業に取り組んでいる。予習・復習を着実にを行うことが確かな読解力につながるということを理解し実感できる授業を行いたい。また、様々な文章を通して問いかけを重ね、伝統的な言語文化への興味や関心を広げていきたい。
数学Ⅰ	生徒の授業の集中力や予習・復習の取組み、授業進度は概ね良好である。理解度が不安な生徒が見受けられるが、中学レベルから高校レベルへの対応がうまくできていないと考えられる。予習を前提とした授業を行いながらも丁寧な指導を心掛けたい。
数学A	生徒の授業の集中力や予習・復習の取組み、授業進度は概ね良好である。単位数が少ないため理解に不安を抱えている生徒が見受けられるが、中学レベルから高校レベルへの対応がうまくできていないと予想される。丁寧な指導を心掛けたい。
英語表現Ⅰ	ペアワーク・グループワークが効果的に機能し、文法を積極的に使いこなそうとする姿勢が伝わってくる。文法・語法の学習方法に戸惑いながらも、着実に良い方向に向かっていくように思われる。
コミュニケーション 英語Ⅰ	生徒が積極的に、かつ楽しく英語を使いこなそうとする様子が伝わってくる。ペアワーク・グループワークが効果的に機能してきている。高校の「すべて英語で」の授業に、苦勞しながらも着実に慣れてきているようである。
物理基礎	やや難しいと感じる生徒もいるようだが、今の授業レベル・進度は維持しつつ、より分かりやすい授業展開を工夫していきたい。また、公式を覚える学習ではなく、考察することに早く慣れさせたい。
生物基礎	興味関心を高くもつ生徒の割合は高いが、「もっと科目の内容に触れてみたい」と主体的に学ぼうという意識がある生徒の割合はそれに比べ低くなっている。自ら学ぶ意識をもつような授業展開に努めたい。
現代社会	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業の進度、難易度も適切である。引き続き興味・関心を抱かせるような授業、時事的事象と教科書の内容がリンクするような授業の展開を心掛けたい。
社会と情報	多くの生徒が集中して取り組んでいる。進度、難易度も授業計画通りで良好である。引き続き興味関心が持てるような授業展開を心掛けたい。実習ではスキルにばらつきがあり、最初は戸惑う生徒もいたがチームティーチングによる指導で充分に対応できている。
家庭基礎	多くの生徒が真面目に取り組んでおり、進度、難易度も適当であると回答している。引き続き生徒が問題意識を持って、課題解決に向けて取り組めるような授業展開を心掛けていきたい。
音楽	多くの生徒が授業に集中して取り組んでおり、授業の難易度、進度共に適当であると回答している。グループ学習による活動では、理解や関心が高まってきている。音楽に関する経験にばらつきがあるが、個々の能力を生かせるような授業を展開していきたい。
書道	授業に集中している生徒が多く、また少しずつではあるが、技量も向上し、芸術としての「書」のあり方を理解し始めている。より多く協同学習を取り入れることにより、クリティカルに書を見つめ、表現できる力をつけたいと思う。
美術	個人制作が多い美術でなかなかグループ学習を中心とする授業運びが難しい。展覧会見学、資料探しや作品の総評などを利用して少しでも対応できるようにしたい。個人の理解の差があるようなので個別の指導などをもっと増やしていきたいと思う。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組んでおり、進度・難易度についても適正である。授業は週2回ではあるが、技能・体力の向上が見られる生徒が約半数いる。今後もグループ学習等を積極的に取り入れた充実した授業を実施していきたいと考える。